



学校だより

伸びゆく子

令和5年9月29日
横浜市立中沢小学校
10月号

苦手なことはどうしよう

学校長 川又 美貴子

朝晩の風の心地よさに、ようやく秋の訪れを感じられるようになってきました。9月下旬から、運動会に向けた各学年の練習が始まり、「今日は体育でダンスの練習があるから、楽しみなんだ。」「これからソーラン節の練習なんです!」など、それぞれの思いが聞かれ、楽しみにしている様子が伝わってきます。

とはいえ、中には「運動会が苦手」というお子さんもいます。演技の練習を何度も繰り返すのが苦手な子、走るのが速くないから徒競走で走りたくない子、そもそも運動があまり好きではない子、などなど、昔子供だった大人の皆さんの中にも、思い当たる方がいるのではないのでしょうか。それでも、運動会の練習は一週間の中に何度もあるし、運動会もやってきます。憂鬱な気持ちを抱えながらも、何とかその日を迎えます。

運動会に限らず、得手不得手は誰にでもあり、いやだな、と思いつつもやらなければいけないことはたくさんあります。そんな時、「いやだな」と思うことは決して悪いことではありません。でも、「いやだ、いやだ。これだからいやなんだ。」と言っているばかりでは、気持ちはさらに乗りません。少しでも楽しみを見つけたり、ちょっとでもできるようになったことを喜んだり、時には、苦手なことに取り組めた自分をほめてあげたり、そんなことを繰り返しながら、少しずつ気持ちのモチ方を身につけていくことも、大切なのだと思います。

「いやだなあ。」とおうちでつぶやきを聞いたら、「そうだね。」と受け止めてあげつつ、乗り越え方を一緒に考えていていただけるとよいと思います。

***** 旭中・中沢小 第2回学校運営協議会 令和5年9月7日(木) *****

今回は中沢小の授業を見ていただき、委員の皆さんからは次のようなご感想をいただきました。

- ・全体的に落ち着いている感じがした。タブレットも使いながら、熱心に学習していてよかった。
- ・低学年の植物の観察では、タブレットで写真を撮ってきて、それを教室でじっくり観察したり、比較したりしていて、こんな風に学べるのは良いと感じた。暑さのことも心配だし、雨の日でも写真が一枚あればできるなんて昔とは変わったと感じた。
- ・どのクラスも、板書をしっかりしているのがよいと思った。ICT 活用が進んできている中で、画面に映す方法に頼る授業が増えてきている。すると子どもたちが、今何をやっているかが、どんどん画面から消えていってしまって分かりにくい。どのクラスも板書を大切にしているなどと思った。
- ・一つのことをペアで話したり、グループで考えたりして、とても丁寧にしっかり取り組んでいて驚いた。

いただいたご意見をもとに、子どもたちの主体的、対話的な学びの充実に向け、ICT 活用のよさ、難しさも踏まえながら、今後も研究・研修を重ねていきたいと思っています。